

AIOCR:Dxsuite

オンプレ版全文認識用

CUBEご紹介

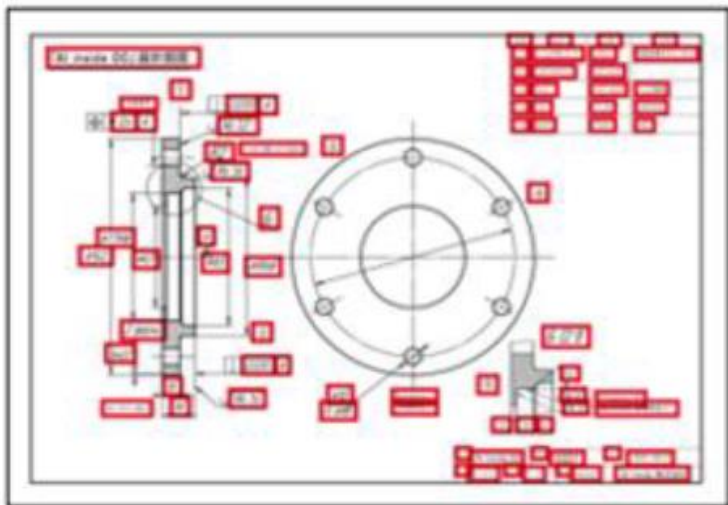
全文OCR 機能とは

- ▶アップロードした画像に含まれる文字をAIが自動で検知し、文書を丸ごとテキストデータに変換する機能です。
- ▶手書き、活字問わずテキストデータに変換できます。変換したデータはCSV・サーチャブルPDF・JSONで出力可能になります。

技術文書 / 図面

膨大な量の設計図面や
研究書類、製造設備の取扱説明書。
全文読取でいつでもすぐに検索できる
PDFに進化

ナレッジ共有促進、検索時間短縮へ



契約書類

膨大な量の契約書類。
全文読取で文書丸ごと
テキストデータ化し
いつでもどこでも即座に内容確認

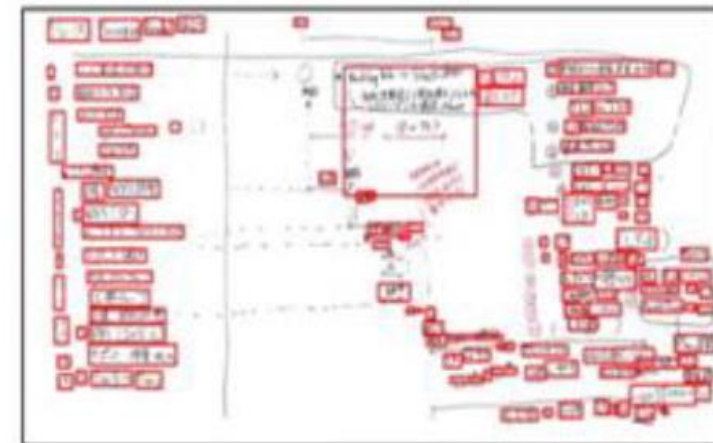
業務の効率アップ



手書きレポートなど

大切な情報が書き込まれた帳票や
手書きのレポートも丸ごとテキストデータ化で
管理・検索性アップ

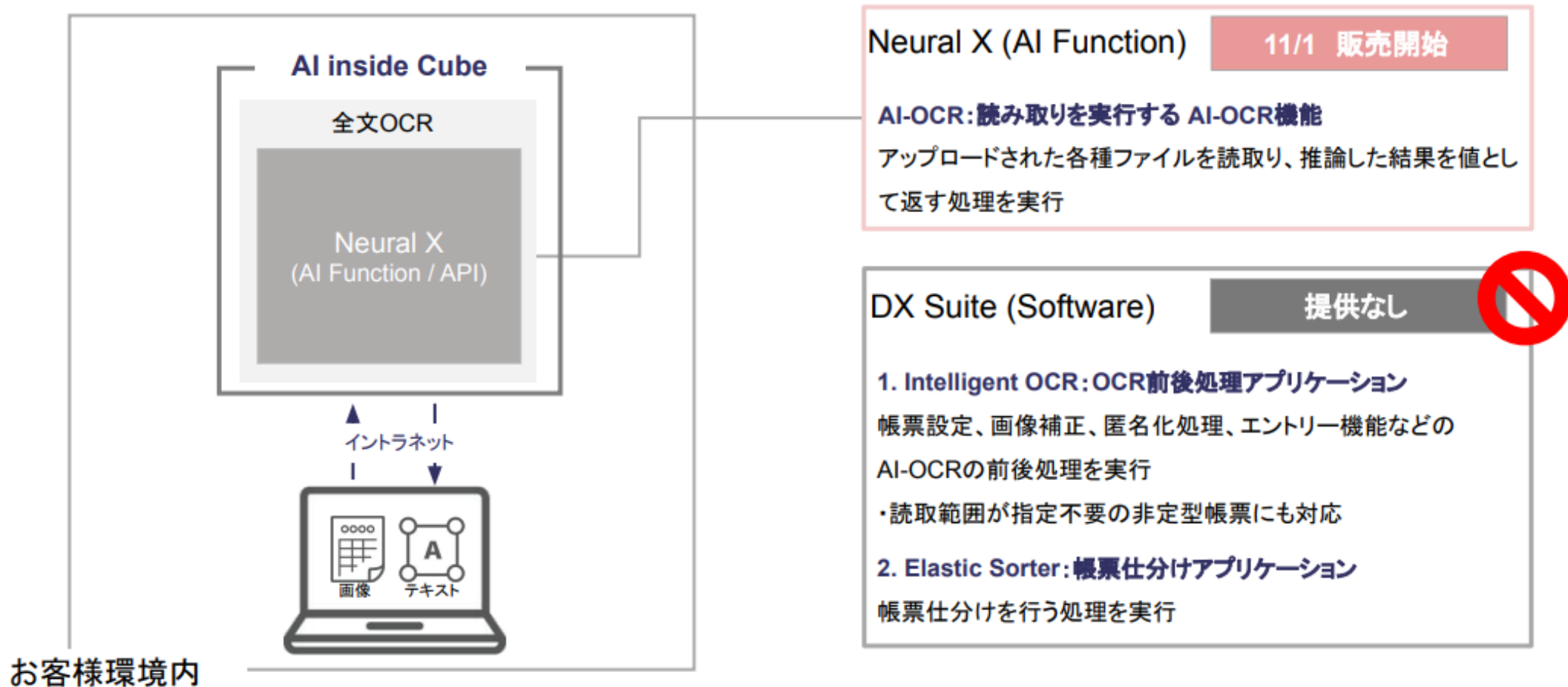
手書き書類も情報資産に進化



全文OCR for Cube 提供形態に関して




今回、NX:(Neural X (AI Function))のみでの提供となります。

そのため前後処理や GUIなどの提供はありません。



AI inside Cubeのモデル 種類について

AI inside Cubeシリーズ

				
製品名	AI inside Cube mini	AI inside Cube	AI inside Cube Pro	AI inside Cube Pro 4U / 4U+
主な特徴	スモールスタートが可能 場所を選ばずオフィスワークに最適	日々の業務で発生する紙のデータ化 小規模のデータアーカイブまで	倉庫に眠る大量の帳票を これで解決	処理性能No.1増設も容易で 大規模処理に対応
サイズ	約150mm / 辺	約300mm / 辺	19インチラック 2U	19インチラック 4U
ストレージ	512GB	1TB	2TB	2TB
搭載可能ソフトウェア	DXS (旧 UI)			全文OCRエンジン

全文読取機能提供形態パターンと処理性能目安

▶ 全文読取機能は、AIモデルエンジンのみのお搭載とし、APIのみの提供となります。（WebGUI無し）

▶ 複数台（冗長）構成を構築する際は、ユーザー様にて負荷分散装置をご用意ください。

構成	システム構成イメージ	NX	合計台数	参考; 時間あたり処理性能目安(ページ数 ※)				
				時間あたり	AI inside Cube	AI inside Cube Pro	AI inside Cube Pro 4U	AI inside Cube Pro 4U+
① 単一構成		1	計1台	1時間	1,700	3,200	6,900	11,900
				8時間×20日間	272,000	512,000	1,104,000	1,904,000
				24時間×30日間	1,224,000	2,304,000	4,968,000	8,568,000
② 冗長構成 ※		2	計2台	1時間	3,400	6,400	13,800	23,800
				8時間×20日間	544,000	1,024,000	2,208,000	3,808,000
				24時間×30日間	2,448,000	4,608,000	9,936,000	17,136,000

※ 時間あたりの処理枚数は当社テスト帳票で計測したものであり、参考値です。
読取対象の複雑度合いにより、実際に読取り可能枚数は前後いたします。

※ 上記以上の性能が必要な時は相談を承ります。



株式会社UFジャパン